

「産学官連携による地域活性化に関する実態調査」〈結果に基づく通知〉 ～中国管内における状況～

令和 2 年 9 月 11 日
総務省 中国四国管区行政評価局

総務省では、地場産業の創出・育成の手法の一つであり、地域活性化の手法としても重要性を増している「産学官連携」の取組の実態を調査しました。調査した全国 33 の先行事例には、産学官連携に取り組む関係者が困難を克服しようとするときに役立つ知識や視点等が含まれており、以下のとおり、取りまとめました。

中国管内においては、中国四国管区行政評価局（局長：平野 真哉）が、平成 31 年 4 月から令和元年 7 月にかけて、鳥取県の「伯州綿」、島根県の「調湿木炭」及び広島県の「転倒予防くつ下」を対象に調査を実施しました。①「伯州綿」では、国内の綿花栽培が衰退している中、地域のボランティアが栽培活動に参画しており、収穫した伯州綿を製品化し市内の新生児・高齢者に配布するとともに、商品化・販売は地域内の事業者こだわるとともに、伝統的な地域資源を後世へ継承していく取組など、②「調湿木炭」では、無料配布によるモニター調査を定期的に継続して実施し、大学等との共同研究において必要とされる企業ニーズを明確化する取組など、③「転倒予防くつ下」では、開発した商品や試作品を積極的に介護系・医療系の学会の展示会に出展することで改良や新商品開発のヒントを収集するなど、新たな企業ニーズ等を創出する取組などの例がみられました。

今後、地域において産学官連携に関わる皆様の取組に資することを期待しております。

1: 事例を分類し、各分類ごとの連携活動の特徴や傾向を整理

＜分類分けの概要＞

① 目指した成果による分類（商品開発、生産拠点づくり等）、② 想定する市場による分類（原産地近隣、国内、海外等）、③ 活動の主体別に分類（産・学・官のどこが中核となっているか）

2: 各事例に共通してみられる課題の克服のために工夫した取組

＜共通する課題とそれに対する取組＞

① 「産・学・官」等のマッチング環境を事前に整備する等の取組、② マッチング時に企業との相談・交渉等を円滑にするための取組、③ 研究開発後の事業化を支援する取組、④ 人材育成の取組

3: 事例集 ～1・2 で整理した工夫の詳細を 33 事例ごとに紹介～

[別添資料]

- 資料 1 中国管内における事例
- 資料 2 調査結果の概要（総務省公表資料）

なお、結果報告書の全体版については、行政評価局のホームページに掲載されています。

https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/hyouka/hyouka_kansi_n/ketsuka_nendo/R02.html

(照会先)

総務省 中国四国管区行政評価局 評価監視部
第 1 評価監視官室 楠田、川戸

電話：082-228-6352(直通)

F A X：082-228-4471

E-mail：cgk11@soumu.go.jp